

平成23年度施政方針と

当初予算

3月11日に発生した「東北地方太平洋沖地震」により亡くなられたかたのご冥福をお祈りいたしますとともに、被災された皆さまに謹んでお見舞い申し上げます。

さて、今年度は、まちの将来像である「笑顔かがやき 心かよう 美しいまち」をめざす、第5次白鷹町総合計画の実質的なスタートの年と位置づけ、さらには連動する過疎地域自立促進計画の着実な展開を図るべく、「人づくり」をベースとし、「子育て・教育」「雇用・産業」「地域」を重点分野に魅力あるまちづくりを進めてまいります。

まちづくり、地域づくりの土台である「人づくり」を推進するうえで必要不可欠な要素である人材育成については、「白鷹人育成事業」「小中学生交流事業」を新たに展開します。また、乳児から中学生までの医療費自己負担額助成事業や子宮けいがんワクチン等接種費用助成事業を継続するとともに、「特定不妊治療費助成事業」や「ファミリーサポートセンター充実強化事業」を新たに創設し、子どもを産み育てやすい町を目指します。

さらに、働く場所の確保に努めるとともに、産業センターを核とした農工商連携による第6次産業化の推進体制も整備してまいります。地域づくりについては、住民の方々の自主的な生涯学習活動の支援を行い、集落支援員も引き続き配置します。また、安心安全なまちづくりに向けて、防災力の向上に努め危機管理体制の確立を図ってまいります。

改めて、町民の皆さまと町が共に創りあげる「共創のまちづくり」の理念に立ち返り、安心安全なくらしを第一として、生活福祉の向上、さらには次代につなぐまちづくりとしての諸施策の実現に向け、一杯努力いたす所存であります。

白鷹町長 佐藤 誠七

施策の概要

1. 子育て・教育

【子育ての充実】

○子ども手当支給事業やニコニコマタニティライフ応援事業を継続します。

○「特定不妊治療費助成事業」や「ファミリーサポートセンター充実強化事業」を創設し、子どもを産み育てやすい環境づくりに努めます。

○保育園の整備については、こぐわ・あゆかい保育園の統合をはじめとする「子育て拠点施設整備事業」に着手するとともに、民営化に向けた体制整備を図ります。

【学校教育の充実】

○学校と家庭・地域の連携を密に「心かよう郷土の学校づくり」を推進し、子どもたちが変化する時代を主体的に生きていくための実践的な力となる「確かな学力・豊かな心・健やかな体」を育むため、学校生活支援や特別支援教育の充実などの施策を展開します。

○耐震化をはじめとする施設整備、スクールバス運行など、安心・安全な学校環境づくりに努めます。

○荒砥高校の新入生応援事業を継続するとともに、平成25年度からキャンパス制の導入と総合学科へ改編されるため、その準備・検討も含め、魅力を高める活動支援を行います。

2. 雇用・産業

【農業の振興】

○今年度から本格実施される農業者戸別所得補償制度に加え、中山間地域等直接支払推進事業、農地・水・農村環境保全向上対策事業などに積極的に取り組み、農地の維持保全や堆肥の利活用の推進を図ります。

○地域特性を生かした農業の振興と活性化を図るため、地域農業活性化センターを核として、遊休農地の解消、耕畜連携の推進や集落営農、作業受託組合の活動支援を継続するとともに、農業が魅力ある産業として発展できるよう、次世代を担う後継